



KAMEDAJIMA

「はにかむエブリデイ」

亀田の郷の縞だより

令和7年

013

「はにかむ」=しよしがり(はずかしがり)な亀田の人々、「ハニカム」=自然界に存在する丈夫で美しい亀の甲羅の構造。

強くて優しい亀田縞と、この地にくらす人々をイメージしています

亀田縞利用促進協議会

Person

江南区商・農・福連携推進連絡会
コーディネーター
間島 由夏さん

Person

NPO法人就労継続支援B型 ぐつとあーるえす
代表 富樫 新子さん



(左)NPO法人ぐつとあーるえすは新潟市中央区上所上の事業所。富樫さんは利用者さんと施設への熱い想いにあふれている方。「依頼された仕事は断らないがモットー」と頼もしい限り。
(右)間島さんはこの仕事に誘われたときにこれは片手間でできないと、それまでの仕事をやめて取り組んだ。朗らかさと芯の強さを持ち合わせた女性。

2025年、亀田縞は、明るい色をメインとしたセカンドラインをスタートし、初年度は新シリーズを知ってもらうため、多種多様なハンカチを様々な場所で販売しました。

新しい布地を生み出す作業は機屋の仕事ですが、布から製品にして多くの消費者の元に亀田縞を届ける仕事はまた別のもの。カメラジマストアが製造販売を請け負って、ここから発注を受けてハンカチの製作を担っているのが、江南区内13の障がい者施設のお世話をしている間島さんと、中央区で就労継続支援B型事業所を運営する富樫さんです。

店頭では隣り合って並ぶ同じハンカチですが、実は製作の過程は全くこととなります。

間島さんのグループでは、工程を細分化し、いわば亀田縞がパトロンとなって各施設間を繋ぎながら製品ができていきます。間島さんはプロジェクトの立ち上がりから江南区の障がい者施設を一つずつ訪問して協力を呼びかけ、何か突発的なできごとで作業が止まっても、互いに協力しながら納品できるシステムを作りました。おかげで企業ノベルティなどの大量発注も心配なくオーダーできます。

富樫さんの事業所は、受注から納品まで一貫して引き受けるスタイル。スタッフが利用者さんに合う作業を考え、ミシンをしたことがなくても興味ありそう、できそうだなと思えば練習して一から教えてみんなに完成させます。一枚の布が製品に変わる嬉しさを共感し、休日に家族と売場を見てきたよと教えてもらうのはスタッフの励みになっているのだとか。「私たちが作ったハンカチが大阪万博でたくさん売れて夢みたいで嬉しかったです」。

多くの人、たくさんのお手を通して広がっていく、亀田縞の輪

タウンウォークかめだ 代表

阿部 和志さん

事務局長

斎藤 茂さん

亀田の町を読み解く文化と歴史の案内人。街角でワクワクをお届けします。

旧亀田町及び近郊の歴史・文化・習俗を楽しみながら学ぶ「まち歩き」。そのガイドを行うボランティア団体「タウンウォークかめだ」だ。一緒に歩けばその道角を曲がるたび新しい扉が開いて世界が広がる「まちのブ口」。代表の阿部和志さん(写真左)に、事務局長・斎藤茂さん(写真右)同席のもと、亀田への想いなどを伺った。

曾野木地区出身の阿部さんは、小学生の頃は図書館にある全国の昔話や民話を全部読んでしまう、土地の歴史や民俗好きなどでもでした。興味は尽きることなく大人になり、NPO法人でまち歩きガイド養成講座を担当したことから縁が広がって、今は亀田のまちガイドとして活躍しています。

「亀田は歴史が深い商人の町で、記録も街並みも残っているので客観的な視点で楽しめるまちです。ここにいるいろんな人と知り合って10年前に「タウンウォークかめだ」ができました。亀田には外から来て活動する者をも見守ってくれる雰囲気があります。きっと商人の町の伝統が育んだ「人」をこばまない空気だと感じています」。

阿部さんは、まち歩きには人とワクワクを共有する楽しさがあると考えています。

「参加者の方が新しい発見をして、来てよかったと思ってもらえたらうれしいし、逆にこちらが知らなかった事を教わることも数多くあります」。

まちを通して多くの仲間とネットワーク

を築き、袋津散策「今日は一日 袋津三昧」(9月)や、亀田諏訪神社をライトアップする幻想的なイベント「亀田アート&ライト」(11月)など、まちに親しんでもらうイベントではグループの力で支えます。

まちのガイドは行政や企業に依頼されて行うほか、直接のオフアームもあります。

「参加者が地形好きな人たちなら砂丘や小路を、歴史が好きなら寺の来歴も入れるなど案内ポイントを考えます。たとえば亀田向山の水道タンクは土地のランドマークですが、個人で行くにはなかなか辿り着かないし市外の人にはピンとこない場所かもしれない。でも生活に関わる重要な場所で、昔は電車の中からもよく見えたので、遠出をした人はあのタンクが見えたら『やっと戻ってきた』とホッとする心の寄りどころ…とわかれば、亀田郷の歴史側面にも興味をもっていただけます」。

事務局長の斎藤茂さんはタウンウォークかめだのガイドについてこう語ります。

「10名のガイドはバックグラウンドも得意分野も様々です。商店街が得意な人、歴史に

詳しい人、行政に長く携わっていた人、建物のプロ…それぞれが持ち寄る知識で案内の層が厚くなりレベルが上がります。また同じ場所でも切り口の違う案内ができます。何度でも楽しんでもらえると思いますよ」。

まるで亀田の町が一冊の読み物になったように、まちを歩きながら文化や歴史を伝え、参加者の好奇心の窓を開く。

まち歩きガイドはいつでもどのポイントでも臨機応変に、ワクワクを伝えています。



阿部さん(左)と斎藤さん(右)。グループの課題は「若手ガイドの養成」。興味のある人は問合せを。



目につくものから気づかず通り過ぎてしまう事まで、あらゆる角度・方面から話題が飛び出すが、気軽に「あなたにとって亀田とは?」と尋ねた時は急に考え込んだ。「…あまりにも自然な存在すぎて、どうやって答えたらいいかわからないです…」愛があふれる回答です。今年お揃いのナップサックを作った。目立ちやすい亀田縞2ndラインの柄を選んだ。

■タウンウォークかめだ
メール / minkandensyo828@gmail.com

はにかむ機屋だよ

いよいよ年の瀬。
どちら様もよい年をお迎え下さい。

今月のイチ押し! 帽子

この夏は扇子や子供甚平などの涼しい夏ものを用意して遠方の販売会にも行きました。大阪万博や伊丹空港などへ行くのに特大の旅行カバンが重宝しました。

中宮機業(有)

新潟市江南区曙町 1-8-18
TEL.025-381-5163

大正12年創業。縦縞で織り進めるため丈の長い浴衣や着物なども得意。亀田縞の素朴で優しい風合いを生かし、綿、ちぢみ、綿麻、ガーゼなどバリエーション豊富。



今月のテーマ

思い出
2025年の

今月のイチ押し! 新潟手帳

先日はアメリカから20名のグループがいらして楽しく買い物して下さいました。今年の新潟手帳はかわいい刺繍の入った柄です。書店でご覧ください。

立川織物

新潟市江南区袋津3丁目1-52
TEL.025-381-3067

迷路のまち、袋津の一角にある明治17年創業の機屋。横縞で織り進めるのが特徴で、通常の亀田縞より粗野感のある太めの糸で織りあげる。スベック染を行う。



縁あって 亀田 ふるさ あふれ

亀田に所縁を持ち、
への想いを深めていく
憶を元に愛情を育て
そんな亀田への愛
む人たちをご紹介します

にいがたデジコングランプリ2025

「にいがた市お宝部門」グランプリ（新潟市長賞）受賞

遠藤 蒼月さん（敬和学園大学人文学部国際文化学科4回生）

歴史だけに偏らず、堅くならず若者に見てもらえるコンテンツを目指しました。

「にいがたデジコングランプリ」は今年25回目となる動画や静止画・アプリなどのアイデアと表現力を競う大会。今年、1000を超える応募作から、亀田郷と亀田縞をテーマした映像作品が「にいがた市お宝部門」で見事グランプリに輝いた。作品を作った遠藤さんに話を聞いた。

——テーマに亀田縞や亀田縞応援隊の
青山さんを選んだのは？

実は二回生の時、地元をテーマにnote（※）に記事をアップする課題があつて中営機業さんに飛び込み取材をしていろいろ教えてもらったことがあります。地元だしなんとなくは知っているけど具体的にはわかってなかった。その後課題も終わりフェードアウトしたのですが、昨年、授業で今度は映像作品を作ることになり、ゼミの二戸先生に亀田郷や亀田縞をテーマにしてはどうかと背中を押してもらいました。

——亀田東小学校の卒業生なのですね

はい。だから小学校三年の地域学習で亀田縞を習っているのだけど、正直、当時はまだ子供だったんで、そんなに関心はなかったです。今回先生から動画のキーマンとして青山さんを紹介してもらい、そう言えばそんなことがあったなあ、あの人が青山さんだったのか！とぐんぐん記憶が繋がりました。僕の頃は座学でお話を聞くだけだったけど、今はみんなで綿繰りをして楽しもうですね。

——制作で苦労したところは？

コンテスト出品用に作品を短くするために切る場所がなくて苦労しました。それと東小に取材に行ったらこどもたちのめっちゃいい表情が撮れたけど使えないからモザイクをかけないといけなかったことです。



（※）自由に文章や画像、音声、動画を投稿し、また応援できるメディアプラットフォーム

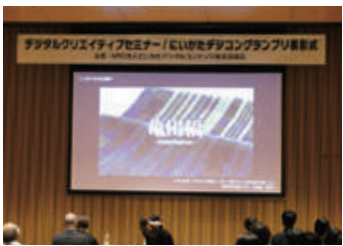
——映像からどんなことを届けたいですか

大人になると昔のことをいろいろ忘れてしまふけど、ふとした瞬間に地元の魅力に気づくことがあります。たとえば車を運転するようになって、こどもの頃に遊んでいた道の複雑さに気づいたりします。皆さんの地元にも何かの魅力が眠っているかもしれないので、ぜひ見つけてほしいな。

——亀田縞にもひとこと。

コスト的にもう少し買いやすくなって、ワンポイントでいいから若者に身につけてほしいです。僕がデザイナーなら絶対どこかとコラボしたいです。それと青山さんが「亀田の縞はインドから続いている」って映像の中で語っていますが、亀田縞を向こうの人にも知ってもらいたい。そう思うとあの映像は早くインドの言葉に翻訳しないとイケませんね（笑）。

卒業後は地元を離れ、映像関係の道に進むことが決まっている遠藤さん。今回の受賞が自信につながったのでは、と尋ねると、「嬉しいけどまだまだです。ただここにいたら今の景色しか見えないからまずは都会で腕を磨き、大きくなってまた亀田に戻ってきます」と爽やかに微笑んだ。



ゼミの一戸教授より

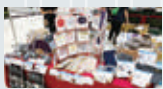
受賞作は現代的なテンポの映像表現を得意としていた遠藤さんの学生時代の変化や成長を体現する作品だと感じています。亀田東小学校で亀田縞応援隊のことを知り、遠藤さんが制作に取り組む姿を通して私自身も少しずつその物語を理解できるようになりました。作品をきっかけに亀田縞のファンの方々とも出会え、物語の共有こそが亀田縞への理解を深めるカギになると感じています。

※受賞作は敬和学園大学の公式サイトトップページ「キャンパス日誌」からご覧いただけます。

NEWS & INFO

大阪万博に続き、関西の空の玄関口でも夏の旅人たちに亀田縞を猛アピール

8月29日（金）30日（土）大阪国際（伊丹）空港で、「ITAMI空の市・新潟編」と題するイベントが開催され、県を代表する品として亀田縞も展示販売を行った。地域の特産品が集まる注目のマルシェには多くの人々が来場、大いに亀田縞の魅力を伝えた。



日本の中心、銀座のアンテナショップで江南区の特産品と取組みをご紹介

8月29日（金）、銀座・新潟情報館THE NIIGATAで開催された江南区の魅力を伝える催し物。亀田縞の展示販売と新潟亀田蒸溜所のウイスキー試飲、農商工連携の取り組みが紹介された。購入者には江南区オリジナル品のプレゼントもあり盛り上がった。



お酒の試飲や踊りの饗宴もサポーターズ・グランドパーティ2025

新潟市の魅力を国内外に発信するため、主に首都圏の新潟を愛する人たちに市の情報発信や交流をおこなう「新潟市サポーターズ倶楽部」。今年も親しい顔ぶれが集まる交流会を開催（8月28日（木）於ルポール麹町）。地酒試飲会や皆で佐渡おけさを踊るなど、会場はふるさとの話題であふれ、江南区ブースでは亀田縞等のPRを行った。

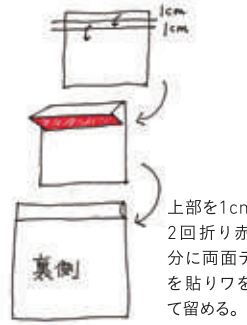


こどもと一緒にTRY! 両面テープだけでつくる 亀田縞の湯たんぽ巾着

今年も寒い冬になりそうですね。電気毛布もよいですが、肌ざわりのよい亀田縞でエコ湯たんぽを作ってみませんか。針を使わず両面テープで留めて作るから超カンタン。ペットボトルにお湯を入れて体の両脇に挟んだり足の付け根や足裏において眠れば朝までぽっかぽか、自然な温もりです。電気を使わないから安心、わが家ではペットのベッドにも入れています。

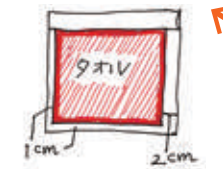
作り方[所要時間30分]

①ヒモをとす部分を作る



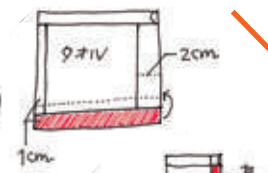
上部を1cm幅で2回折り赤い部分に両面テープを貼りワを作っておく。

②裏側にタオルを貼る



タオルの裏側4辺に両面テープを貼り図の位置に貼りつける。

③赤い部分にテープを貼りタオルのフチを巻いて折る

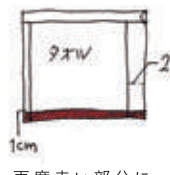


赤い部分にテープを貼り本体側に折って貼りつける

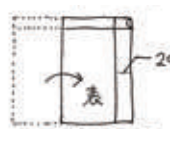


口からヒモをとして一周したらヒモをしぼる。

④ペットボトルの形にします

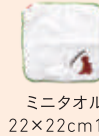


再度赤い部分にテープを貼り



タオルを内側にして2つ折り

用意するもの



ミニタオル 22×22cm1枚



亀田縞(普通布) 25×25cm1枚 (タオルより3cm大きいサイズ)



ヒモ 40cm



布用両面テープ



ホット用ペットボトル (275ml用)

完成

飲める程度の温度(60〜70℃)を入れること



- 立川織物／新潟市江南区袋津3-1-52 TEL.025-381-3067
- 中営機業／新潟市江南区曙町1-8-18 TEL.025-381-5163
- コットンハウス39／新潟市中央区東堀通6-1038 TEL.025-223-0813
- カメダジマストア／新潟市江南区亀田中島2-1-5 TEL.025-311-4111
- まちの駅 亀田の郷／新潟市江南区西町2丁目3-24 TEL.025-383-5595
- 竹福／燕市吉田下町4-12 TEL.0256-93-2224
- ITOYA／三条市荒町2-22-21 TEL.0256-35-1241
- 小さな美術館 季／新潟市江南区松山112-4 TEL.025-276-2423
- 亀田縞公式サイト／<https://kamedajima.net/contact2>

亀田縞布地を賣るお店

それぞれ購入できるサイズや種類がちがうのでお問い合わせください。

お気に入りの亀田縞

亀田縞の公式サイトではみなさんの亀田縞の作品を募集中。洋服、アクセサリやバッグなど。デザイナー、作家さんの作品から、街で買った、自分で作った、お気に入りの亀田縞を教えてください。昔の物でも今の物でもOK。ご応募お待ちしております！

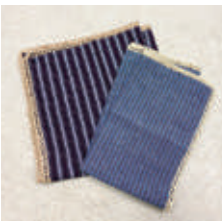
■投稿はこちら ▶ <https://kamedajima.net/showcase>

旅の記念は布地購入、楽しかったことを思い出しながらミシンを踏んでいます

今回は公式サイトからのご投稿です。東京都荒川区のYSさんは、手芸が大好きで旅行に行っても旅先で布屋ばかり探すためご主人や娘さんにはあきられているのだそう。

前にシャツを作った薄地とりネン Cotton の亀田縞でレースハンカチを作りました。来年用にフリルエプロンにも初めて挑戦したそうです。布地は一昨年酒の陣で新潟旅行の時に求めたものだったか。

極細の針と糸で編んだレースがハンカチを縁取ります。エプロンにはフリルをつけて優しい雰囲気。



はにかむ for the future 活動日記

カラフルに華やかにテーブルを彩る 亀田縞のランチマット

10月25日(土)、ホテル日航新潟で開催された、新潟市の酒と秋のごちそうを楽しむ食のイベントに、亀田縞のランチマットがテーブルを飾った。選ばれた縞柄は2ndラインから春夏秋冬の4柄。一部の飲食店でしか味わえない日本酒や越乃寒梅しゃぶしゃぶ、地元食材を使った珠玉の料理がズラリ。地域性あふれるもてなしが会場を盛り上げた。



美味しい日本酒に秋の味覚、亀田縞やタベストリー、灯ろうなどを飾り、亀田色満載の食イベントだった。



亀田縞公式ECショップ

<https://kamedajima.stores.jp/>

▶公式ホームページからご覧いただけます。 <https://kamedajima.net/>



KAMEDAJIMA

江戸時代後期、当時日本最北の木綿栽培地だった新潟県の亀田郷で、腰まで泥につかる過酷な米作りを支えるため、丈夫で汚れに強く、しかも美しい縞柄の綿織物「亀田縞」が誕生しました。大正期にかけて全盛期を迎えた亀田縞は、時代の変遷で一度は途絶えましたが、消滅から半世紀を経て、現在も残る2軒の機屋により復活しました。従来の素朴であたたかい風合いと丈夫さに加え、特色である独特の肌ざわりのよさ、現代生活になじむしなやかさを兼ね備えた布として注目されています。



提供: 亀田郷土地改良区／撮影 本間喜八氏

はにかむ 編集後記

いよいよ年の瀬。皆様はどのような一年をお過ごしでしたでしょうか。野球好きな私はMLBでの日本選手の活躍、ドジャースWS制覇などに熱狂しました。また初めての海外旅行のトルコではカッパドキア熱気球の絶景を体験し「できることはやれるうちに」を体現した瞬間でした。海外旅行にハマリ、つい来年はドジャース戦に行きたいなあ…と夢が膨みます。それもこれも健康あってこそですね。皆様、新しい年も元氣にお会いいたしましょう。(スタッフA)

亀田の郷の縞だより はにかむエブリデイ013

- 発行：亀田縞利用促進協議会／亀田繊維工業協同組合
〒950-0134 新潟市江南区曙町3-6-1 TEL.025-381-4105 公式サイト <http://kamedajima.net/>
- 発行日：2025年12月22日 ■企画編集：バクチープラス 佐藤洋子 酒井祐介 石井達

▶SNSフォローお願いします | 亀田縞のイベントや新商品情報、本紙の取材秘話など発信中。

